

セキュリティは生産性を上げるのか？ | 企業ネットワークを通信構造から問い直す

Published: 2026-08-26 / Updated: 2026-08-26

Summary

企業ネットワークは高速化・クラウド化する一方、メール、Web、SaaS、AI、Proxy、Firewall、EDR、DNS、複数回線などが積み上がり、情報経路そのものが複雑化しました。本記事は、当社Apacheログに残るBOT探索を起点に、正常通信に見える機械アクセス、メールやWebを人より先に機械が読む構造、回線SPOF、ProxyのControl Point化、セキュリティKPIの再設計を検討します。

Key Points

- セキュリティは、安全性を高めるだけでなく、必要な人が必要な情報へ速く安全に到達し、障害時にも業務を継続できる構造として設計すれば、生産性の向上にもつながります。回線、DNS、Proxy、Firewall、Mail、SaaS、AI、認証、ログ、Failoverを一つの通信システムとして可視化し、情報到達性・可用性・判断時間まで含めて評価することが重要です。
- 複数IPからWordPress系・管理系・不審PHPファイルを探索する大量404アクセスが発生していること
- 攻撃パターンのBLOCKと、HTTPとして正常に見えるBOTアクセスを分けて観測する必要性
- メールやWebでは人間の閲覧前後にURL検査・プレビュー・検索・AI等の機械アクセスが発生し得ること

Sources / References

Company_measurement

慧通信技術工業株式会社 [ieee802.co.jp](https://www.ieee802.co.jp) Apache SSL access log (2026-08-25)

慧通信技術工業株式会社 Web / WAF運用ログ

慧通信技術工業株式会社 メール配信・Webアクセス運用記録

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-213-security-productivity.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.